

私は、公明党を代表してただいま議題となっております議案第1号令和3年度野田市一般会計予算並びに議案第2号から議案第5号までの令和3年度各特別会計予算4件及び議案第6号令和3年度野田市水道事業会計予算並びに議案第7号令和3年度野田市下水道事業会計予算につきまして、賛成の立場で討論をいたします。

政府の経済見通しによりますと、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられ、先行きについては、緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があるとし、経済への影響に対しては、重点的・効果的な支援に万全を期し、さらに、成長分野への民間投資を大胆に呼び込みながら、生産性を高め、賃金の継続的な上昇を促し、民需主導の成長軌道の実現につなげるとしております。

政府は、令和3年度予算及び関連法案の早期成立に努め、引き続き、感染状況や経済的な影響を注視しながら、予備費も活用して機動的に必要な支援策を講じていくとしています。

そのような情勢のなか、野田市令和3年度予算編成に当たっては、一般会計では509億7,200万円、対前年予算比1.2%の減であり、また水道事業会計及び下水道事業会計を含む全会計では約929億5,200万円、対前年予算比2.2%の減となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、歳入の根幹である市税は、最終的に11億円の減収見込みとなり、それに伴い臨時財政対策債を含む実質的な普通交付税については増額となりますが、不足する一般財源を補うため最終的には財政調整基金を取り崩して収支均衡を図っております。

そのような中、全ての事業をゼロベースで見直すことにより、可能な限り市民サービスに影響のない形で経費削減に努め、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現に向けた施策を盛り込んだ予算であると評価いたします。

次に、主要な予算事業項目の評価要因について述べます。

まずは、子育て支援のさらなる充実を図るための休日預かり保育事業、そして私立保育所等障がい児保育事業の拡充、さらには新生児聴覚検査費用助成、またボックス型授乳室の導入など、子育て真っ最中のお母さん方の声を、きめ細かく受け止めた施策であり高く評価いたします。

また、連続立体交差事業と一体的な駅前整備事業の促進。さらに、交通不便地域支援事業の取り組みも継続され評価致します。

また、障害支援区分の認定がない人を迅速に保護できるようにする緊急一時

保護費等助成事業や、生活困窮者の就労支援を図る就労準備支援事業が拡充され、さらには地域共生社会の実現へ向けた重層的支援体制構築のための準備メニューである重点的支援体制整備事業への移行準備事業を実施、新たな野田市の福祉構築の第一歩と高く評価いたします。

また、各特別会計や水道事業会計、下水道事業会計におきましても適切であると評価するとともに、水道に関しては今後とも徹底した企業努力で安全で安心できる水の供給に全力で取り組んでいただきますよう要望をいたします。

最後になりますが、今後も市民の視点に立った公平性、透明性の確保をはじめ、市民のニーズに合った無駄のない予算執行を要望し、賛成討論といたします。